

講義名	対1)テーマパーク経営論			授業形態	
担当教員	西村 典芳	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

テーマパークの概念をはじめ、開発、運営などについて国内外のテーマパークを事例にしてテーマパークの経営戦略や経営改革について学習します。東京ディズニーランド・リゾートやユニバーサル・スタジオ・ジャパンの成功要因などについて分析します。また、厳しい状況下にある地方都市のテーマパークや海外のテーマパークについても学習します。

到達目標

- ・テーマパークビジネスについての基礎的な知識を習得し、そのビジネス構造について説明できるようになる。
- ・国内外のテーマパークに実態や課題をはじめ、経営戦略や経営改革について把握できるようになる。

提出課題

- ・毎回、授業内容の課題についてリアクションペーパーを書いてもらいます。
- ・授業内容から、あるいは自分の考えを整理してまとめて提出してください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・課題のリアクションペーパーからの疑問や理解に対して、次週の授業のはじめに解説します。
- ・質問欄に書かれた質問に対する答えも回答します。

評価の基準

- ・授業回数の3分の1（9回）以上を欠席すると期末テスト（あるいはレポート提出）の受験資格（単位）はありません。
- ・評価については、毎回の課題レポート提出、授業態度など40%、期末テスト（または期末レポート）60%として、総合評価とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・授業で学ぶ基本は重要ですが、テーマパークに関する情報は日々変化しますので、常に新聞等で新しい情報も入手してください。
- ・授業に出席する注意は次の通りです。
- ・出席指定を行う予定です。
- ・授業中の許可した時間以外の携帯電話・スマホの使用は禁止します。
- ・そのほか私語、寝坊等は許可しません。注意しても改善されない場合は欠席扱いとなります。
- ・授業中、わからないところや疑問に思うことは積極的に質問してください。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

その他

- ・必要に応じてプリントを配布します。
- ・参考文献・・・必要に応じて紹介します。

授業計画

1. イントロダクション（授業計画、成績評価他）
2. テーマパークの概念、テーマパークの歴史の変遷
3. 東京ディズニーランドの経営・運営計画
4. ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの経営改革
5. 地方都市のテーマパークの実態と課題
ハウステンボス
6. 海外のテーマパークの概況について
7. テーマパーク事例研究
キザニア
8. テーマパーク事例研究
旭山動物園
9. テーマパーク事例研究
三鷹の森ジブリ博物館
10. テーマパーク事例研究
別府市「海・園地」
11. テーマパーク事例研究
お化け屋敷
12. テーマパーク事例研究
新横浜ラーメン博物館
13. テーマパーク事例研究
ナムコのフードテーマパーク
14. テーマパーク事例研究
鈴鹿サーキット
15. テーマパークの今後の展望と課題

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・毎回の授業内容が変わるため、必ず予習、復習が必要です。
- ・テーマパークに関する情報は日々新しくなっていますので、新聞やメディアのニュースを積極的に読んで入手してください。
- 具体的には
- ・授業で学んだ内容のポイントを整理してまとめてください。（2時間程度）
- ・予習として、次週の授業範囲をよく読み内容を整理してください。（2時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

テーマパークとは、そもそも何なのか、その歴史や発展、世界のテーマパークの盛り立ちを多角的に分析して、テーマパークの概観と歴史、海外のテーマパークの開発形態と現状、国内のテーマパークの特徴、国際観光のかわかり、について学び、テーマパークの全体を理解することで、日本のテーマパークについて学ぶことができます。テーマパーク経営の方法や事例から、日本におけるテーマパークについての在り方を考えます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

この授業は現状では、対面授業で出欠や課題提出でICTを活用することがあります。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
旅行会社の経営に26年間携わり、心と体の健康のための新しいツーリズム、「ヘルスツーリズム」を研究し、地域の健康づくりを通じて活性化の手伝いをしています。

備考

新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が発生する可能性があります。